

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ITビジネス演習 Ⅲ	配当学年	2
講義名（コード）		単位数	3
対象学科	グローバルビジネス学科	時間数	90
対象コース	デジタルビジネスコース	講義期間	春学期
専攻		履修区分	必修
授業担当者	島田 昭仁	授業形態	講義
成績評価教員	島田 昭仁	実務者教員	実務者
実務者教員特記欄	国、県、市町村のスマートシティをはじめとする都市計画に25年以上携わった教員が講義する。		

2. 本授業科目の概要

目的（位置づけ）	いくつかの企業が現在取り組んでいるビジネスモデルやSmart City Projectについて実践的な事例研究をすることを通して、DXが市場にもたらす価値や課題を習得する
到達目標	検討した事例をヒントにして、各自が自らのDX構想を考え、それをプレゼンテーションできるようになる。
全体の内容と概要	連携企業の協力の元で行われるworkshop中心の授業
授業時間外の学修	登場する連携企業について各目の事前調査を奨励 日本の連携企業の事例研究をヒントとして、類似例などを海外で探すリサーチワーク
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	講師	授業内容
1	4/15	島田昭仁
2		島田昭仁
3	4/20	島田昭仁
4	4/22	島田昭仁
5	4/22	島田昭仁
6	4/27	島田昭仁
7	5/6	島田昭仁
8	5/6	島田昭仁
9	5/11	島田昭仁
10	5/13	島田昭仁
11	5/13	島田昭仁
12	5/18	島田昭仁
13	5/20	島田昭仁
14	5/20	島田昭仁
15	5/25	島田昭仁
16	5/27	DB合同事業
17	5/27	DB合同事業
18	6/1	島田昭仁
19	6/3	教室／横須賀
20	6/3	教室／横須賀
21	6/8	島田昭仁
22	6/10	教室／横須賀
23	6/10	教室／横須賀
24	6/15	島田昭仁
25	6/17	日本通運 繁田
26	6/17	日本通運 繁田
27	6/22	島田昭仁
28	6/24	日本通運 繁田
29	6/24	日本通運 繁田
30	6/29	島田昭仁
31	7/1	島田昭仁
32	7/1	島田昭仁
33	7/6	島田昭仁
34	7/8	UDCK 黒澤
35	7/8	UDCK 黒澤
36	7/13	島田昭仁
37	7/15	島田昭仁
38	7/15	島田昭仁
39	7/20	島田昭仁
40	7/22	島田昭仁
41	7/22	島田昭仁
42	7/27	島田昭仁
43	7/29	島田昭仁
44	7/29	島田昭仁
45	8/3	島田昭仁

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	